

【氷見市】
校務 DX 計画

1 氷見市の校務DXの取組について

氷見市では令和3年11月に校務用端末を更改し、無線で校務用端末が使用できるようになった。校務用端末を教室においても使用することが可能となり、シームレスな環境が整っている。また、Microsoft アカウントを全ての教職員に付与し、Microsoft365 を活用した校務や授業ができる体制で、以下の校務DXに取り組んでいる。

(1) 支援ツールを活用するための研修会の開催

市内や校内で、Microsoft365 やクラウドサービス等の活用のための研修会を開催している。各校の情報主任の教員が市の ICT 教育推進委員として集まり、大学教授や関連企業等の講師を招聘して ICT を活用した研修会を実施している。

(2) ペーパーレスの推進

職員会議で印刷していた資料を Microsoft の Onedrive や Teams を活用し、紙資料の削減を押し進めてきた。各職員に配布する資料もデータで対応をしている。また、市内学校間の連絡や成績処理においても校務支援システムを活用し、ペーパーレスを進めている。

(3) 「まなDX」の活用

文部科学省の「StuDX Style」を参考に、氷見市においても独自の ICT 支援サイト「まなDX」を開設し、学期末に各学校から ICT の活用事例を提出してもらい、市内の教職員で情報共有をしている。

(4) AI デジタルドリルの活用

「ラインズ e ライブラリ」を導入し、一部の学校では毎日持ち帰り、宿題として活用している。紙のプリントを削減、丸付けの手間を省いている。

(5) 保護者や生徒、教職員アンケートのクラウド化

Microsoft Forms を活用し、これまで紙で回答をしてもらっていたアンケートをクラウド化した。保護者会の希望時間を Microsoft Forms で行っている学校もある。

(6) オンライン研修会の開催と研修会動画のクラウド上での共有

教育総合センター等で開催する研修会や講演会を、Microsoft Teams の会議機能を利用したオンラインで実施している。また、当日参加できない教職員のために講師に許可を得て、Microsoft Stream を活用し、期間限定で研修会の動画を共有している。閲覧は、市内の学校用 Microsoft アカウントを所持している教職員しかできない。

(7) ICT 支援員の配置

氷見市では市立学校 14 校に、毎週 1 回と別に月 1 回、ICT 支援員を配置し、校務や教材作りの補助を行っている。全国学力テストの一部が CBT 化されるなどの新しいシステムに対応するために生じる業務の補助を行うことにより、教員の負担軽減になっている。

2 「GIGA スクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」における課題

「GIGA スクール構想の下での校務DXチェックリストの自己点検結果」(文部科学省 令和5年11

月実施)を数値化した結果は、対象の氷見市内の市立学校14校の平均が274.3で、全国平均を下回っている。また、富山県内でも県内16自治体中14位であり、取組に差があることから、以下の校務DXにおける課題があると考ええる。

(1) 教職員のスキルと意識

教職員間にICTスキルの差があり、ICTの活用に対する考え方も様々である。ICTに対して苦手意識のある教員に対して、どのようにアプローチしていくかが課題である。

また、新しいアプリの使用方法を学ぶための時間や授業で活用できるマニュアルがない状況である。Microsoft365等の便利なクラウドツールが導入されているが、機能を使いきれていない状態である。具体的な活用方法を提案するなど、意識改革も含め課題がある。

(2) ルール・規則

氷見市教育情報セキュリティポリシーを策定していない状況で、保護者から提出される個人情報の漏洩リスク低減のためのルールが定められていない。また、校務用端末を校外に持ち出すことを禁止していて、現状は市立学校と教育総合センターへの持ち出しのみ許可している。

FAXや押印などの慣例となっている業務が一部に存在する。

3 今後の校務DXの取組について

これらの現状を鑑み、今後は以下の項目について、重点的に校務DXを推進する。

(1) 教職員向けの取組

- ・教職員向けの研修会を開催し、ICT活用スキルの向上を目指す。(継続)
- ・「まなDX」のより積極的な活用(継続)

(2) ルール・規則への取組

- ・教育情報セキュリティポリシーの策定の検討(令和6年度～)
- ・FAX・押印の見直しに向けての検討(令和6年度～)

(3) その他

- ・クラウドサービス活用の拡充(令和6年度～)
- ・次期校務支援システムに向けての検討(令和6年度～)